

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	膠芽腫は画像上いつから存在していたのか、を明らかにするための単施設後方視的検討/B21-245
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部脳神経外科学 主任教授 隈部 俊宏
他の研究機関および各施設の研究責任者	
本研究の概要・背景・目的	<p>膠芽腫は World Health Organization(WHO)分類で、最も予後不良の Grade 4 に分類される脳原発悪性腫瘍です。標準治療は、神経機能を温存した上での最大限の摘出後に、放射線化学療法ですが、5年生存率は現代の医学においてもわずか10%弱になります。膠芽腫の早期発見は通常困難で、何かしらの脳の症状、例えばけいれん、失語、意識障害、麻痺の出現を契機に脳の画像検査を行い、指摘されることとなります。そして、画像上膠芽腫が疑われた場合は、速やかな治療介入を要します。医療従事者として、最も患者さんそして患者さんの家族に聞かれることは、「この腫瘍はいつからあったのでしょうか」ということとなります。膠芽腫が見つかったから、その腫瘍の成長様式を明らかにする目的で悠長に画像経過を見ることは不可能ですので、本質問に明確に答えることはできません。しかしながら膠芽腫の画像上の発生時期を知ることは、膠芽腫の早期発見のため、また膠芽腫病態を理解する上で極めて重要になります。</p> <p>日本は、世界的に見ても人口当たりのMRIやCTの保有数が高いです。そして医療機関へのアクセスが容易であり、脳ドックを含む脳の検査を容易に施行することができます。そのため膠芽腫発症前の画像がかなりの確率で入手可能で、また後方視的に見ると膠芽腫を指摘される前にごくわずかな画像変化を確認することが可能な症例が存在します。</p> <p>本研究では、膠芽腫と診断される以前に画像検査を施行した症例を対象とし、膠芽腫の初期と思われる病変の有無、存在する場合はその体積と日付データを取得し、さらに摘出組織から得られた遺伝子学的特徴との相関関係を鑑み、それぞれの膠芽腫症例の発生時期を数理モデルに当てはめて明らかにするという過去行われたことのない興味深い検討を行いたいと思います。</p>
調査データ 該当期間	2008年1月1日から2022年12月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	上記期間内に膠芽腫の組織診断を受けるための手術が施行された方
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>2008年1月1日から2022年12月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。

個人情報の取り扱い	<p>利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。</p>
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究の遂行のための費用は北里大学医学部脳神経外科学医局研究費及び財団助成金を使用します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はなく、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されています。</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：医学部脳神経外科・講師 担当者：柴原一陽（シバハライチヨウ） 電 話：042-778-9334</p>
備 考	